

おち町

10/1日~7日
総務省
高知県
越知
No.114

2015(H27)11/1
高知県越知町議会

議会だより OCHI TOWN

渡るときしっかりみよう右左

交通安全パレード 9/28 (17面参照)



9月定例会

平成27年度一般会計補正予算1億5229万円

- 2P 道路整備・ふるさと寄附金への謝礼など
- 6P 財源は有効に使ったか (決算審議)
- 12P 安保関連法案の慎重審議を求める意見書など2件を可決
4人が一般質問
- 13P 定住、乳児支援、教育、国保などを問う
- 18P まち・ひと・しごと創生総合戦略に提言



表紙写真にスマホやタブレットをかざすだけで「動画」が見られるサービスを導入しました。幼稚園・保育園児の交通安全パレードが見られます。詳しくは、17面をご覧ください。

ピックアップ

ふるさと寄附金への謝礼 2218万円【10面に関連記事】



町内の特産品が人気を集め、ふるさと寄附金が大幅に伸びており5000~6000万円になる見込み

越知町史(続編)作成業務委託 85万円【9面に関連記事】



町制施行60周年に向け町史の続編が編集されることになった

一般会計補正1億5229万円
道路橋りょう費230万円、公共土木施設災害復旧工事費2910万円など

9月定例会は、11日から16日まで開き、平成27年度一般会計補正予算や条例の一部改正、公共下水道根幹的施設の建設工事契約(協定)・清水簡易水道(野老山地区)施設整備事業の工事請負契約の締結など9件と平成27年度一般会計補正予算の専決処分を全会一致で可決・承認しました。また、平成26年度各会計決算10件を認定しました。

議員提案の「安全保障関連法案について慎重審議を求める意見書」など2件【12・16面に関連記事】を可決し、一般質問【13面から】は4人が定住・乳児支援・教育や国保などの町政課題について執行部をたどしました。

平成27年度9月補正予算

会計名	補正額	総額	賛否
一般会計	1億5229万円	45億5637万円	賛成全員
国民健康保険会計	690万円	9億4296万円	賛成全員
介護保険会計	2482万円	10億8926万円	賛成全員



補正予算

横畠小閉校実行委員会補助 100万円



横畠小学校は、運動会や「虹色の里横畠」主催の茶摘み体験ツアー、キャンドルナイト、いも煮会などの会場として利用されている

キャンプサイト 整備基本計画等委託 674万円



清流仁淀川を生かす体験型観光（カヌー・ソフトラフティング）の拠点施設として計画を進める

Contents No.114 Nov 2015

- 2 平成27年度補正予算ピックアップ
ふるさと寄附金への謝礼など
- 4 平成26年度決算
国保基金7999万円取り崩す
決算審議
- 6 財源は有効に使ったか
議案審議
- 11 こんなことが決まったぜよ
- 12 安保関連法案の意見書など可決
一般質問4人が問う
- 13 定住・乳児支援・教育・国保
など
- 17 広域議会
- 18 まち・ひと・しごと創生総合戦略
に提言書
- 20 連載：移住者訪問

おち家プロモーション事業 821万円【9・13面に関連記事】



町の魅力を外部に発信するため、ホームページの更新やTシャツ、グッズ、広告などに使われる写真は、本町のゆるキャラに決まった「よこじロー」

平成26年度一般会計歳出決算55億3333万円

国保基金7999万円取り崩す



8月21日に行われた学校監査(中学校図書館)

監査委員意見・要旨 [池裕生・寺村晃幸]

一般会計

徴収率向上に努力

前年度に比べ、歳入が1955万円、歳出が7307万円増えた。

町税の収入額は529万円減り、4億6272万円、徴収率は95.3%。不納欠損額は98万円の減となり、徴収率向上に努力がみられる。

総体的に見ると、国・県支出金、地方交付税の歳入全体に占める割合が81.5%にも達し、依存財源に大きく頼った財政となっている。

自主財源の乏しさを克服する財政の弾力性の維持が望まれる。

水道会計

会計基準見直し

前年度に比べ、総収益が991万円、総費用が919万円、特別損失が72万円増えたのは会計基準の見直しによるものである。

有収水量率が78.3%と前年度より1%上昇したが、引き続き漏水対策に努めてもらいたい。

下水道会計

水洗化率微増

水洗化率は平成26年度末で54.7%(前年度54.0%)と微増。

加入促進を重要課題と位置付けて、引き続き努力を望む。

平成26年度会計別決算額

会計名	歳入	歳出
一般会計	56億196万円	55億3333万円
簡易水道	1億4144万円	1億4137万円
下水道	1億5264万円	1億5256万円
国民健康保険	8億9301万円	8億9199万円
介護保険	10億7228万円	10億4456万円
後期高齢者医療	1億607万円	1億464万円
土地取得	0万円	0万円
蚕糸資料館	16万円	16万円
自然の森博物館	2231万円	2231万円
水道会計	6163万円	4968万円
合計	80億5150万円	79億4060万円

国保会計

税率改正も視野に

税収額は、前年度より525万円減った。

収入未済額は259万円、不納欠損額も59万円の減となり、徴収率向上に努力が見られる。

医療費の増額により、基金から7999万円を取り崩すこととなった。

国保会計の安定運営に向け、税率改正も視野に入れ検討を望む。

●不納欠損額

予定した収入が滞り、時効成立などで徴収できなくなった金額。

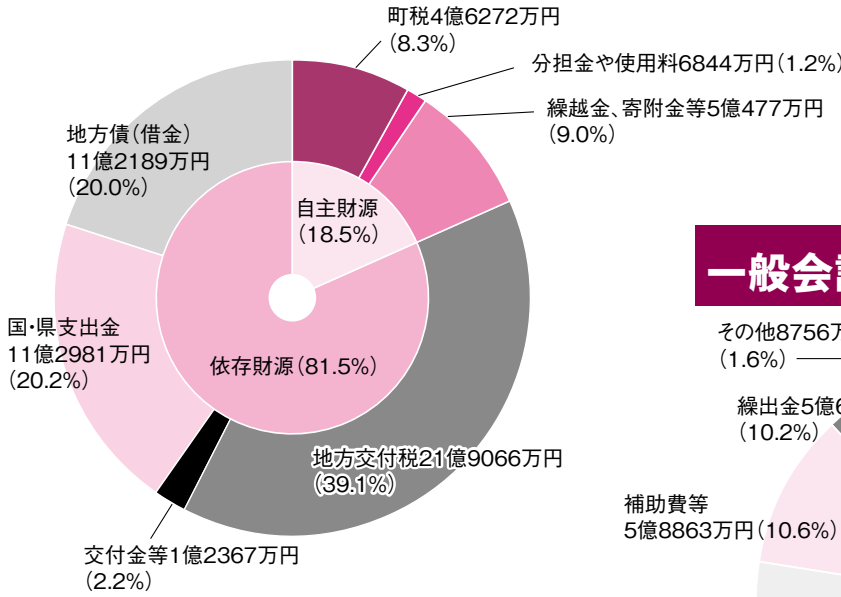
●有収水量率

水道貯水池から配水した水量と実際に使用された水量との比率。

町民一人あたり92万円の支出

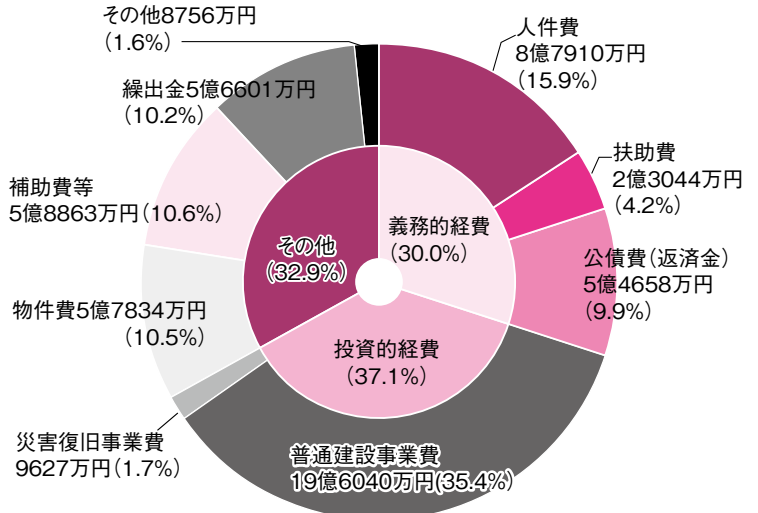
(人口6021人)

一般会計歳入56億196万円



平成26年度の各会計決算と基金の運用状況は、9月定例会で審議し、全ての会計を全会一致で認定しました。
【審議内容は6～8面】

一般会計歳出55億3333万円



町債(借金) 残額66億74万円
(対前年6億221万円の増)
基金(預金) 残金22億7536万円
(対前年3億6701万円の増)

財政の健全化判断		
指標	健全化判断比率	早期健全化基準
実質赤字比率	赤字なし	15.0%
連結実質赤字比率	赤字なし	20.0%
実質公債費比率	6.4%	25.0%
将来負担比率	31.0%	350.0%

平成26年度決算の財政健全化判断と公営企業の経営健全化判断は、いずれも健全化基準を下回っており、赤字や資金不足は生じていない。

基準を下回り

町財政の健康診断

『健全』

用語(指標)の説明

- 実質赤字比率：普通会計の標準財政規模に対する赤字の割合。
- 連結実質赤字比率：町の全会計の標準財政規模に対する赤字の割合。
- 実質公債費比率：町の標準財政規模に占める借金返済の割合。
- 将来負担比率：町の標準財政規模に対する将来支払う負債の割合。350%以上で早期健全化団体となり、財政健全化計画の策定が義務付けられる。
- ※ 標準財政規模：補助金や借入金を除き、標準的に収入が見込まれる財源の規模。

経営健全化判断		
会計名	資金不足比率	健全化基準
水道	不足なし	20.0%
簡易水道	不足なし	20.0%
下水道	不足なし	20.0%

平成26年度決算 【賛成全員で認定】

財源は有効に使ったか

一般会計

時間外手当と臨時職員

小田 時間外手当は課によつて大きな差がある。臨時職員では補えないのか、そうすれば新しい雇用も生まれるが。

今後検討

國貞副町長 時間外が多いのは2課ある。時間外を賃金に振り替えていくには、どのような事務が可能か今後考えていく。

臨時職員の人数は

岡林 臨時職員の賃金は7600万円ぐらいあるが、雇人数と、町内外の内訳は。

62人雇用

織田総務課長 本庁関係が21人、保育が16人、教育委員会が25人の計62人。町内が50人、町外12人となっている。



臨時職員が多い保育園(入園式)

職員旅費

高橋 旅費の目的内容は。
織田総務課長 71万7351円は、町長・副町長の旅費。

職員の視察等の主なものは、税務、ふるさと納税、チャレンジショップ、農産物の生産規模拡大などの視察である。

上田教育次長

国際交流員の研修、北広島町への職員派遣、滝上町の児童交流事業など。

山橋

教育費の不用額が12万2470円になっているが、頑張っている教育長は、もっといるのでは。

山中教育長

東京へ2回と兵庫教育大学へ行つたが、飛行機を早く押さえたので安くなり不用額が出た。

庁舎蛍光灯LED工事

山橋 工事費274万9680円だが、これで全部庁舎内の蛍光灯は、LEDに替えただか。

電気代などの費用対効果は、どれくらいでいるか。

効果はある

織田総務課長 本庁は倉庫とか書庫以外は、すべて終わった。電気代も安くなるし、蛍光灯が長持ちする効果はある。

町例規システム更新

武智 データベース更新222万3936円とあるがどういふ作業を委託したのか。

条例改正など変更

織田総務課長 例、規則規定、主要な要綱などがデータベース化されており、定例議会後に、条例改正など変更内容を維持更新するもの。

武智

議会は制度をつくり、見直す役目があるが、議員はどうやったらみえるのか。

織田総務課長

外へ発信できるように作業を進めている。今年度末にはホームページに例規集が公開できるように準備をしている。

庁舎の清掃業務

小田 庁舎清掃業務は、役場駐車場や周辺道路の清掃は含まれていないと思う。

落ち葉のシーズンには通行に支障をきたしているが、この分も委託内容に入れてはどうか。

織田総務課長 役場本庁の清掃が主であり、時期や場所などは今後検討したい。



落ち葉シーズンを迎える役場前町道

親子遠足助成金

山橋 毎年1万円では少ないと思うがどのような遠足か。
人数と費用は。

大型バス3台利用

谷内保育園長 3歳以上の親子で、大型バス3台を借り上げている。一台が約6万7000円で、保護者会の補助と一家庭2000円くらいの自己負担となっている。
人数は、園児が65人で、それに親が1人付く。



楽しい親子遠足

滞納等処分事務

山橋 3台で約20万円のバス借り上げ料に補助金1万円は少ないのではないか。
子育て支援にもっと助成をしてはどうか。

小田 高幡広域滞納処分等事務が前年度に比べ、減少しており効果がでていますが、管理機構への委託件数、滞納金額等がどれだけ減ったのか。

小田町長 検討する。

金額人員とも減少

片岡税務課長 前年度対比106万5708円の減少となり、対象人員が35人から27人に減った。徴収率は近年下がったことがない。

移住者住宅改修費

武智 改修費140万円は、どこをどういう目的で改修したのか。

中内企画課長 地域おこ

し協力隊が定住目的で住宅の居間や居住スペースを改修した。もう一つは高知市からUターンした人が、お風呂を改修した。

事業の目的と効果は

市原 青年就農給付金と農業近代化推進事業の目的と効果は。

高橋産業課長 青年給付

金は、就農初期の不安定な時期に給付金を支給し、就農の意欲、定着を図るのが目的で、5人に給付した。

近代化推進事業は、産業祭、柴尾の水稲共同防除、今成土地改良区に補助したものだ。

マイナンバー

岡林 社会保障・税番号制度システム整備費1200万円は全ての経費か。

織田総務課長 26年度は、

住基と地方税の宛名システム改修と、全国的に置かれる中間サーバーの負担金。

今後、国民年金などの福祉関係のシステム改修、窓口で個人番号カードを交付するときを使うタッチパネル式の端末が必要で、27年度に予算計上している。

ファイティングドッグス

西川 活性化事業310万円は、佐川町も出しているのか、その効果は。ドッグスの選手は町内に住んでいるか。

中内企画課長 佐川町の

交流人口の拡大を目指すことは把握していない。

ホームタウンになることにより、交流人口の拡大を目指している。

本町には、コーチと監督が住んでいる。



ドッグス田での稲刈りに園児も参加

基幹集落センター

山橋 JAコスモスに、委託料を毎年200万円

くらい払っているが、町にメリットはない。譲渡するとか無償提供してはどうか。

理事会に諮ってもらおう話をしているか。

小田町長 無償提供まで

は考えてなかった。これまでそういう話はあったが、受け取ってもらえない状況と聞いている。理事会にかけてもらえば前進だと思ふ。



JA越知支所の2階にある基幹集落センター

特別会計

介護会計

計画の成果は

武智 計画策定委員会費
委託料334万8000円は、どこのコンサルタ
ントに委託したのか、成
果は。

箭野住民課補佐 委託先
は、(株)ぎょうせい。

計画の成果は今後

小田町長 状況を分析し
たうえで、保険料基準額
や財政的な部分を定める。
この計画に基づき、今後
介護保険制度、高齢者保
健福祉計画をどのように
していくのかPDCAで
検証する。
計画自体の成果は今後
になる。

下水道会計

加入率の改善は

山橋 歳入の中で使用料
及び手数料が約4割、下
水道加入率が54・7%で
は一般財源から繰入をし
なければならぬ状態に
なるが、加入率改善の方
法はないか。

広報活動に努める

北添環境水道課長 一年
間に10件程度加入してい
る。
新築は強制的となるが、
改修する場合は、100
〜200万円くらいかか
るので、なかなか進まな
いのが現状である。
広報活動に努めながら
徐々に水洗化率を改善し
ていきたい。

水道事業



4000人以上に水を供給する上水道貯水池

小田 決算上は1000
万円を超える純利益を出
したことになる。

職員配置を見ると水道
事業に3人以上関わって
いるようだが、決算では
2人分しかない。
企業会計は独立採算性
が本来の姿だが、判断す
る時期がきているのでは。

小田町長 企業会計は順
調にいつているが、そこ
のバランス、人員配置に
ついては、今後検討して
いきたい。

国保会計

国庫支出金

増額の理由は

岡林 国庫支出金が、3
413万2000円増え
た理由は。

前田住民課補佐 一般
の保険給付費等の増によ
るもの。

お知らせ

柴尾集会所での議会報告・懇談会

たくさんのお越しをお待ちしています!

越知町議会では、議会
活動や町政について、町
民の皆さまとの意見交換
を開催しています。
今回は、次のとおり柴
尾集会所で開催いたしま
すので、皆さまお誘い合
わせの上、ご参集くださ
いますようご案内します。
柴尾地区以外の方も歡
迎します。

【開催日】

11月25日(水)

【時間】

午後6時30分から

【会場】

柴尾集会所

◆お問い合わせ等は議会
事務局までお願いします。
TEL26・1112
FAX26・0600

おち家プロモーション事業 821万円の内訳は



ホームページがリニューアルされる

武智 おち家プロモーション事業の内訳は。

おち家PR グッズなど

中内企画課長 ホームページのリニューアルに400万円、おち家PRグッズ作成委託に221万9000円、広告事業に200万円。
グッズ作成は、よこジローグッズ、インタビュールボード、Tシャツ、帽子など。



絵本が整理された保育園図書室

どのような講師を依頼するのか

岡林 児童福祉施設費報告償費10万円は、どのような講師を依頼するのか。

人形劇を依頼
上田教育次長 保育園に図書室を新たに整備して、完成イベントとして人形劇の催し物をする。

介護保険研修 の説明を

市原 介護保険事業負担金10万円の認知症初期集中支援チーム研修受講料と介護支援専門員研修会の説明を。

認知症支援チームを立ち上げる

西川住民課長 28年4月から認知症初期集中支援チームを立ち上げるための受講費8万円で包括支援センターの職員2人。介護支援専門員研修は住民課職員1人の受講料。

幼稚園

エアコン工事

小田 幼稚園のエアコン設置工事100万円は、エアコン本体も含まれているか。

上田教育次長 エアコン自体も工事費に含まれている。



現在は物置になっているがエアコンを設置し図書室に生まれ変わる

いつからの

編さんか

山橋 町史続編に85万6000円となっているが、前に作ったものから、これまでの30年間を載せるか。

昭和59年以降

織田総務課長 前回の町史が昭和59年6月30日発行で、その後の30年あまりの町政の遍歴、足跡などを考えている。

債務負担行為を含めて総額1995万円程度になる。

●債務負担行為●

予算は単一年度で完了するのが原則ですが、1つの事業や事務が単年度で終了せず、後の年度においても「負担」支出をしなければならぬ場合には、あらかじめ後の年度の債務を約束することを予算で決めておきます。

どこを予定 しているか

岡林 修繕料と住宅解体
工事は、どこを予定して
いるか。

解体工事は6区住宅

織田総務課長 修繕料は
住宅全体で、小舟団地が
多い。

住宅解体の70万円は退
去した6区の単独住宅の
取り壊し費用だ。



住宅の今後の活用は

通話録音装置 防犯カメラは

武智 通話録音装置29万
2000円とあるが、ど
ういう目的のものか。

電話の声を録音

織田総務課長 電話のや
り取りを録音できる装置
で10台分。

6月に税務課の職員が
差し押さえに行ったとき
に事件が起き、警察から
電話の録音内容で証拠に
なることもあると指導が
あった。



役場庁舎には数力所の出入り口がある

武智 以前に税務課の書
類がなくなつたことが
あったが、防犯カメラは
付けているのか。

設置検討

織田総務課長 防犯カメ
ラは設置していない。

警察からも話があつて
おり、本庁と保育園など
に設置できればと考えて
いる。

時間外手当250
万円は何に使うか

小田 総務費の時間外手
当が、この時期にしては
大変大きな金額が計上さ
れている、どういった事
業に使用するのか。

ふるさと納税事業に

織田総務課長 総務課職
員の方で、ふるさと納税
にかかるとの。

一般グループ研修 23万円

研修の内容は

岡林 一般グループ研修
事業補助金の内容は。

横島地区住民参加

中内企画課長 横島地区
の住民グループの研修事
業に補助するもの。

来年3月、東京で緑の
ふるさと協力隊公開報告
会に6人が行くもの。



伝統行事で活動する緑のふるさと協力隊

条例の一部改正

●個人情報保護

マイナンバー法の施行に伴い、28年1月から「個人番号」の利用が開始される。

町が保有する特定個人情報 の適正な取り扱いや開示、利用の制限などについて必要な措置を定めるもの。

《賛成・全員》

●手数料条例

マイナンバーの「通知カード」、「個人番号カード」は、初回交付手数料は国が負担するため無料だが、紛失等による再交付の手数料を定めるもの。

○手数料

「通知カード」500円

「個人番号カード」

800円

《賛成・全員》

質問

マイナンバーのセキュリティ

山橋 マイナンバー制度導入で、セキュリティについて職員の勉強会を行ったか。

織田総務課長 職員は業務上使用ことになるので、1月の利用前までに実施したい。

●町立小学校設置

横畠小学校を廃止する。(28年4月1日廃校予定)
《賛成・全員》

工事請負契約

●清水簡易水道(野老山地区)施設整備事業

契約金額 5470万4160円
契約相手 ㈱中島工務店 増本正人
工事場所 野老山の一部
工事内容 管路延長2365m(管径25〜75mm)
ボーリング(L=30m)2カ所
《賛成・全員》



ボーリングが始まる船戸、対岸は筏津

●特定環境保全公共下水道根幹的施設の建設工事

契約(協定)金額 9500万円
契約相手 日本下水道事業団 谷戸善彦
工事場所 女川汚水処理施設内
工事内容 処理場電気設備改修工事一式
《賛成・全員》



主要機器である配水処理の制御を行う盤(シーケンサ盤)が取り替えられる

こんなことが決まったぜよ

意見書

9月定例会に提出された2件を可決し、関係機関に提出しました。

「安全保障関連法案」の慎重審議を求め

提出者 武智 龍議員

歴代内閣法制局が否定してきた「集団的自衛権の行使」を政府の憲法解釈の変更によって容認するというものであるが、多くの憲法学者、憲法の番人である最高裁の元長官らが「憲法違反」と指摘している。

国民の理解が得られないまま多数の力で成立させる法案が、国民の真の利益につながるとは考えにくい。

今までの外交、防衛のあり方を大きく変える本法案は、会期にこだわることなく徹底した審議を尽くすとともに、拙速に採決することのないよう強く求めるものである。

反対討論

戦争を未然に防ぐ

寺村晃幸議員

野党やマ

スコミはことさらに大きな表現、戦争法案などと反対をおおっているが、この法案は決して戦争法案ではない。

戦争を未然に防ぐ戦争抑止法案であり、日本の安全保障、国民の生命、財産を守るためにこの法案は絶対に必要である。

西川 晃議員

現在、日

本近海における安全保障の環境が急速に悪化している。

集団的自衛権の行使はやむをえない状況で、我が国の平和と安全を確保するためにもこの法整備が必要である。

【16面に関連記事】

賛成討論

理解が得られてない

山橋正男議員

国民に対

する説明不足が81・1%安倍首相も国民に十分な理解が得られていないと認めている。

今まで政治に無関心層と言われていた若者や主婦たちが全国津々浦々どこかで連日集会等で抗議活動を行っている。

政府は、主権者である国民の声に謙虚に耳を傾けるべきである。

《賛成5・反対3》 提出先 内閣総理大臣、衆参両院議長、他3大臣

議員	賛否	議員	賛否
小田	○	岡林	○
武智	○	山橋	○
市原	×	西川	×
高橋	○	寺村	×
齋藤	議長		

伊方原発の「公開討論会」開催を求め

提出者 武智 龍議員

原発による重大事故が起これば、仕事も住まいも学校も、生きる場所をそっくり移転せざるを得ない。被害は県の境目も越えて広大な範囲に及ぶ。愛媛県知事が重要な判断要素としてあげている伊方原発環境安全管理委員会原子力安全専門部会は、四国電力と国の話を聴いただけで、批判的見解をもつ専門家の意見聴取はしないまま、「まとめ」を行った経緯がある。このような形で作成された「まとめ」を基にして、重大な原発問題を判断することは許されない。徹底してフェアな構成による「公開討論会」の開催を求めます。

《賛成7・反対1》 提出先 愛媛県知事

ズバリ!! 町政を問う

一般質問

武智 龍・13ページ

- ① 定住対策
- ② 林業振興
- ③ 農作業ヘルパー
- ④ プロモーション事業

市原静子・14ページ

- ① 乳児支援
- ② 子ども対策
- ③ 防災対策

高橋文一・15ページ

- ① 教育行政
- ② 観光行政
- ③ 行政視察と全国への発信

岡林 学・16ページ

- ① 国民健康保険基金
- ② 第5次総合振興計画
- ③ 安全保障関連法案

定住対策

現役世代の人口増は

高校生に地域の職業体験を 町長



武智龍 議員

問 町長は、現役世代の人口増を施策の中心にすると言われたが、取り組み内容と成果は。

中内企画課長 27年度から不妊検査と治療費用の一部助成。

保育園と幼稚園に同時に2人以上入園している世帯の第2子の保育料と、幼稚園と小学3年生までに同時入園・在学している世帯の第2子の幼稚園授業料の全額支給。

高校生の通学費用月額2000円補助を新設した。

問 高知県は地域おこし協力隊の定住率が59%となっている。人口増には制度を活用して隊員の数を増やすことが効果的だ。



おち駅で働く地域おこし協力隊

小田町長 協力隊は、任期後を見据えて、全面的に後押しをしていきたい。

中長期的な定住戦略は

問 現役世代の人口増は中長期的な取り組みが必要だが、今後その世代をどう定住につなげていくか。

小田町長 高校生が地域の職業を体験することや子育て支援の中身をさらに充実させたい。

結婚に対する男性の意識改革や農業分野で県と連携し制度を活用したい。

林業振興

林業従事者を育成せよ

森林組合と連携で 町長

問 町面積の84%が森林だが、伐採期を迎えた人工林の量は。

前田建設課長 伐採期を迎えたヒノキ、スギ、マツは合計5312ヘクタールで、243万3000立方メートルとなっているが、26年度の木材の生産量は0・8ヘクタールだ。

本町は搬出経費が多くなるため、生産量の増加が図れない。

林業は可能性があるが

問 統計資料では本町の林業従事者は9人だが高齢者が多い。

従事者が今の5倍になっても200年以上続く可能性があり、今後の人口維持や経済波及効果が

期待できるが、若い従事者の育成は考えているか。

小田町長 若者育成は正直考えていなかったが、人工林という大きな財産があり、森林組合とも連携して今後の方向性を一緒に考える。

森林組合と方向考える

高橋産業課長 ある程度専門的な知識や経験を要するので、目的を明確にし、本町の農業に合った制度を研究する。

農作業ヘルパーの創設を

問 高齢の農業経営者や女性経営者から、農作業ヘルパーの要望があるが設置できないか。

その他の質問

問 プロモーション事業の内容と成果は。

中内企画課長 移住促進のDVDやテレビ番組3本、テレビCM180本などにより、おち駅の販売額やカヌー、ラフトの利用者が増加した。

國貞副町長 ふるさと寄附金が増加し、すでに3000万円を超える経済効果があった。



経済効果が期待される林業

乳児支援

おっぱいマッサージに助成を

制度を検討したい 町長



市原静子 議員

問 母乳で育てるお母さんが多くなっているが、その母乳が詰まると何度もマッサージに通わなくてはならず、週に2〜3回となれば高額になる。近隣の自治体では無料のところもあるが、本町は助成できないか。

西川住民課長 町内の助産師さんのご協力が得られることが前提で、母乳相談ができればと考えている。

佐川町では申請者に母乳相談受給証を交付し、2歳の前日まで回数無制限で利用可能としている。

問 できる限りお母さんがスムーズに頑張っているため、町内・町外を問わず応援できないか。

小田町長 助成制度は検討していきたい。

町内で誰もが満足できるのが一番いいことであるが難しい面もある。母乳を飲ませたい気持ちは十分理解できる。

子ども対策

3歳児健診で臨床心理士の診断を

前向きに検討したい 住民課長

問 3歳児健診で、臨床心理士の健康診断がされないという。子育ては3歳までが勝負と言われるくらい大事な時期であり、発達障害の疑いを発見しやすいことから専門医が必要であるが考えを聞く。

西川住民課長 発達障害は専門的な知識のある人が、数回の診断と家庭訪問等が必要である。臨床心理士の確保ができれば、前向きに検討したい。

3歳児健診を

小田町長 3歳児健診を含め、発達段階に応じて専門家が寄り添い、サポートしていく必要がある。保育園・幼稚園の職員も親との連携を取り十分論議をしていく。子どもにとって早期発見することが一番いいことだと思ふ。



保健福祉センターでの3歳児健診

防災対策

感震ブレーカー設置を

住民の意見を聞き進めたい 危機管理課長

問 地震が起きたとき密集した街の中では、道幅が狭く火災が広まり大変な事態になると聞く。感震時に自動的にブレーカーを落とす装置を付けられれば、通電火災を予防できるが導入の考えは。

地震による火災は、同時多発的に発生する場合があります。地震火災対策計画を策定する中での取り組みとして、感震ブレーカーの設置は、地区住民の意見を聞きながら進めていきたい。

片岡危機管理課長

大規模な地震などに伴って停電が復旧する際に発生する火災。破損した電化製品や電気配線が通電時に発火することなどが原因。

●通電火災●
大規模な地震などに伴って停電が復旧する際に発生する火災。破損した電化製品や電気配線が通電時に発火することなどが原因。



2区から10区までが延焼防止重点推進地域に指定されている

教育行政

全国学力テストの結果は

全国平均より高く昨年以上

教育長

問 27年度全国学力テストの結果は。

山中教育長 小学校、中学校共にテストのあった全教科で全国平均より高く、昨年以上の成果が得られた。

問 英語力向上のため中学校卒業までにできるだけ英検3級を取らしたいとのことだったが、26年度の結果と27年度の現状は。

また、中学校3年生のグアム研修の成果は。

山中教育長

中学3年生の英検3級合格者は26年度5人、27年度の現時点で9人となっている、卒業までに30%を目指す。

グアム研修は、生徒から「みんなが少しでも英語を話せたことがよかったです」という感想があった。その結果英語を学ぶ意欲や興味、関心が高まったように思える。



高橋文一 議員

一般質問

観光行政

土日祝日の観光案内は

今後協議し工夫する 町長

問 おち駅の観光案内はどかが担当しているか。土日祝日に、営業していないのはなぜか。

小田町長 候補地は二つほどあり、民地もあるので購入する方向で進んでいる。

問 体験型観光拠点施設 キャンプサイト基本計画は、用地購入が伴うと思いが予定は。

小田町長 土日祝日を開ける必要性は十分理解しており、今後協議し工夫もしていく。

中内企画課長 観光協会が窓口業務を行っている。



土日祝日に閉まる観光協会事務所

外国人の観光

問 外国人の観光に語学力のある中学生や住民で地域を助ける考えは。また、今後は語学力のある地域おこし協力隊を入れてはどうか。

山中教育長 中学生は部活などがあり難しいと思うが、英語力が上がれば可能性は出てくる。

小田町長 英語、韓国語、中国語の会話ができる人材は今後必要と思う。県から補助がいただければ、いろいろな仕組みも考え事業に乗せたい。

織田総務課長 小学校、中学校に26年度は7団体、27年度は現在までに5団体となっている。

山中教育長 視察に来られた人たちからは良い評価をいただいている。27年度の今後は3団体の予約が入っている。

問 教育やその他の強みの分野を全国にどう発信するのか。

小田町長 教育は実績を積みことにより、定着させることが大切であり、今後力を入れる。ホームページをリニューアルする。

また、関東圏のテレビ番組に出ないかとの話もあり、積極的に情報を発信していきたい。

行政視察と全国への発信

問 本町への行政視察はあるのか。あればその効果は。



岡林学 議員

国民健康保険基金

不足すればどのように補うか 運営協議会で分析・精査

町長

問 国保財政調整基金は、26年度約8000万円、27年度当初予算で3600万円取り崩し、残りは1240万円である。本年度8月までの推移と、今後不足すればどのように補うのか。

西川住民課長 8月までの医療費の支払いは、月平均3800万円で、前年比12%減である。

単純計算だが、残りの月が5100万円ぐらいであれば、今の予算で収まると思っている。

小田町長 保険料は、平成20年度から上げていないが、今後の動向を十分に分析・精査し、国保運営協議会に諮らなければならぬ。

仮に上げるとなれば、住民に十分な説明をし、理解が得られるようにしたい。

問 30年度から県に移管し、市町村が共同で運営をするが、現在の状況と今後の予定は。

西川住民課長 県が、財政運営の責任主体となり、市町村ごとに標準保険料率を提示する。

新たな制度は、今後県の運営協議会が細部について検討していく。



健康づくりは市町村で(総合健診)

●標準保険料率●
都道府県が、医療給付費等の見込みを立て市町村ごとに保険料率を算出し公表する。市町村は、それを参考に、それぞれの保険料算定方式や予定収納率に基づき、保険料率を定め、賦課・徴収し、納付金を納めることになる。

第5次総合振興計画

今後の取り組みは

審議会を開く 町長

問 23年度からの10年計画だ。5年経過した時点で見直し修正するところがあるが、どのように検証してきたのか。

はいない状態である。各課では、現況確認や今後の振興策、新たな課題などについて話し合いはしている。

小田町長 移住・定住策、学力向上、子育て支援、高齢者の見守り等は一定の成果は上がっている。特に生活道の整備は各段に進んだと思う。

●PDCA●
P(計画)→D(実行)→C(評価)→A(改善)の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善する。

反省点は、各課の検証と横の連携が不十分であった。今後5年は、まち・ひと・しごと総合戦略でこれまでを検証し、PDCAを確実に実行する。

問 計画は作ったただけか。島根県雲南市の総合計画は、目標を明確にし、事業ごとの数値目標を入れ、毎年見直ししている。今後の取り組みは。

問 この計画の審議会での検証は。

小田町長 審議会を開いてなかったことは、おわびを申し上げたい。

中内企画課長 23年度から審議会は開いていない。任期は2年で、現在委員

委員を委嘱して、すぐやるようにしたい。

安全
保障
関連
法案

十分な議論が必要だ

問 全国で法案に反対行動があり、憲法学者の中にも違憲だと言う人がいる。私も不明点が多く、もう少し十分な議論が必要だと思っている。

町長は、この法案をどのように思っているのか。

理解を得る説明を

小田町長 国の安全保障に関することなので、国会の場で議論すべきだと考える。合憲でなければならぬが、それは司法が判断すべきだ。国政の場できちんと解決し、国民に対して理解を得る説明をしていただきたい。

平成26年度高吾北広域町村事務組合決算

区分	歳入	歳出
一般会計	17億3710万円	16億7381万円
特別会計	特別養護老人ホーム	13億7679万円
	養護老人ホーム	1億3229万円
	障害者支援施設	2億5136万円
	ふるさと市町村圏	3232万円
合計	35億2986万円	31億9476万円

《賛成・全員》

広域議 会

定例会（9月2日）

第3回定例会が9月2

日に開かれ、平成26年度各会計決算の認定、条例の一部改正など7件を賛成全員で可決しました。

一般質問には、1人が登壇しました。

決算認定

26年3月末現在で、県内全市町村、また全国の一部事務組合の約66%が制定していることから、広域組合においても制定するもの。

《賛成・全員》

条例の制定

●職員の新任用に関する条例

諸般報告

●消防・デジタル無線運用状況

通報場所が瞬時に特定でき、出動に要する時間短縮が図られている。救急要請では、救急車が到達するまでに応急手当や適切な処置が、今まで以上に口頭指導できるようになり、大きな効果が表れている。

衛生センター

6月末に工事が完成し、順調に稼働しており電気使用量の10%削減など機器を更新した効果がでている。

清掃センター

稼働開始後21年が経過し更新の時期となったが、老朽化した設備を大規模改修して長寿命化を図る方針とし、28年度には基本設計を予定している。



大規模改修される清掃センター

今号の表紙



9月28日に秋の交通安全運動の一環として、幼稚園・保育園児によるパレードが行われた。西町から役場まで太鼓を打ったり、ポンポンを振りながら交通安全を訴え行進しました。

一般質問

片岡智準 議員
(仁淀川町)

介護福祉施設の 人手不足解消は

問 広域組合では、人手不足を補うため知人、友人、縁故などを通じて人材確保をしていると聞く。現場の負担軽減にもつながる人員増に取り組み、働き方の多様性を模索しているのか。

様々な雇用形態検討

西村春日任所長 人員確保

保の取り組みとしては、知人、友人などの紹介やハローワークで募集している。

働き方の多様性という面では、フルタイムだけでなく、パートタイム、食事介助・洗濯・清掃に限られた業務内容やフレックスタイムなど様々な雇用形態を検討したい。

スマホやタブレットで「動画」を見るには、下記の操作をしてください。動画の見られる期間は、1月31日までとなっています。

操作は簡単 3ステップ!



アプリマーク

- 1 専用アプリをダウンロードしてください。
iphone/ipad は「App Store」
スマホ/タブレットは「Google Playストア」
各サイトで「COCOAR」を検索して、アプリ(パンダマーク1)をダウンロードしてください。
(無料で登録の必要はありません)

iphone/ipad
App Store



スマホ/タブレット
Playストア



- 2 アプリを起動し、カメラマークをタップし、写真にかざしてください。
- 3 ピントが合うと動画の再生が始まります。スマホを横にして動画フレームをクリックするとサイズが大きくなります。



地方創生政策提言書



議場において議長から町長へ「政策提言書」を手渡した

地方創生調査特別委員会（武智龍委員長他4人）が主となって、視察や住民懇談会、検討会などを10回以上行い取りまとめた「越知町版まち・ひと・しごと創生総合戦略提言書」を9月定例議会で承認し、斎藤議長から小田町長に渡しました。

議会からの提言を積極的に総合戦略に取り入れ、交付金等の確保に向け頑張ってもらいたいことを望んでいる。

提言書の柱

人口の6割以上が市街地に住んでいるため、周辺の中山間地域は人口減少と高齢化で集落維持が難しくなり、数年後には消滅が危惧される。

創生に当たっては、「中山間地域の再生なくして町の創生はない」という認識に立たなければならぬ。

安定した雇用の創出を

主要産業の農業、持続性と経済効果の可能性がある林業、外貨が稼げる着地型観光などを振興すること。

【農業】

① 地産外商や施設園芸の推進、集落営農組織の増強、法人化の促進、複合経営拠点化など新しい経営体を育成すること。

② 中山間地域の農業を守るため、ハローワークなどでは対応できない独自の人材紹介の仕組みを構築すること。

③ 農地の貸し手リストの整備、信頼性の高い行政の関与、町独自の研修制度の創設、県外への情報発信等に取り組むこと。

④ 横島西部地区の灌漑施設は、農地の中まで配管を伸ばすこと。

【林業】

伐採期を迎えた町内の大量の原木を将来性が期待される大型製材工場やCLT工法の推進など対応させるため、森林組合の組織強化と既存事業者の支援、小規模林業家などを育成すること。



農業委員会との懇談会

【農産物の加工・販売】

① 誰もが気軽に利用できる共同加工場の整備と支援体制を充実し、加工事業者を増やすこと。

② おち駅は移転または駐車場を拡張し、販売や流通に実績と意欲のある人を置いて、経営改革に取り組むこと。



横島西部地区区長との懇談会

【観光・商業】

① 国道沿いに、駐車場や食事等のできる観光拠点施設を整備し、民間に運営させ雇用につなげる

② 民宿や農家レストラン、ツアーガイドなど、観光関連事業を生業にする事業者を育てること。

③ 横倉山自然の森博物館は、民間事業者などを入れ軽食や温泉の活用など集客増を図ること。



商工会との懇談会

【企業誘致】

本町との取引のある企業やゆかりのある経営者などに呼びかけ、企業誘致に取り組むこと。

新しい人の流れを作れ

生産年齢人口の割合と定住者数を増やすため、子育て世代の移住者を増やすこと。

① 都会で働く出身者やふるさと回帰を考えている若者に、本町の魅力を積極的に発信すること。

② 移住者受け入れの理解と協力を得やすくするため、受け入れ地域に対し奨励金を出すこと。

③ 移住した若者の就業支援や起業家を誘致するため、閉校校舎や空き店舗などを活用したシェアオフィスを整備すること。

④ 農林産物の加工、販売に実績のある人や観光

事業を生業としてやってみたい人等、独立願望のある人を誘致すること。

⑤ 都会からも林業に興味を持つ人材を募集すること。



大桐・南国地区区長との懇談会

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえよ

① 婚活コーディネーターを育成し、結婚の世話焼きとして活躍を支援すること。

② 流城市町村と協力し、若い人のさまざまな出会いの場をつくること。

③ 結婚祝い金や成果を出したコーディネーターに対し、報奨金制度をつくること。

④ 結婚した若者や子育て世代の移住者が土地購入や新築、増築、賃貸住宅に入る場合の補助制度を新設すること。

⑤ 子ども数に比例した出産費用の助成と出産祝い金制度を創設すること。

⑥ 高校生の通学支援制度の充実と本町出身の大学生などに対し、町内で就職または家業を継ぐ場合、返済しなくて良い奨学金制度をつくること。

時代に合った地域づくりとくらしを守り、地域間の連携に取り組め

① 小中学校があつた集落を地域の中心集落と位置づけ、「集落活動センター」の開設を急ぐこと。

② 同センター開設に当たっては、準備段階から町職員や地域おこし協力隊など地域外の人を入れ、地域住民と一緒に考えて支援すること。

③ 定年退職者や幅広い人脈・優れた知識・技術を持った人が、産業や地域づくりの場で活躍できるように、人材バンクや紹介の仕組みをつくること。

④ 市街地に、高齢者が歩いて行ける範囲に、子どもたちや友人と一緒に食事や趣味などの活動ができる「あつたかふれあいセンター」などの施設を整備すること。



土佐町「集落活動センターいしはらの里」視察

人材育成を

① 子どもから大人まで、町民自らが目標に向かってチャレンジできる環境をつくること。

② 女性の活躍の場の拡大を図ることや、町職員など人材育成に関わる指導者を育成すること。

*実際の提言書は内容が多いため、記事は紙面の都合で抜粋しています。



本山町「集落活動センター汗見川」視察



越知町に永住する
覚悟で来ました
倉橋健一さん(6区)

議会だよりでは、移住を希望されている人に役立つことを願い、町外からの移住者（I・Uターン）の取材記事を連載しております。
今回は、今年7月から地域おこし協力隊として働いている倉橋健一さんに、10月9日にコスモスマツリ会場でお話をお伺いしました。

夢が叶う

仁淀川町出身の倉橋さんは、安芸高校卒業後、高知市内のラーメン店に勤めていましたが、親類の招きで上京し、以来29年間東京のラーメン店で働いていました。

50歳くらいで、田舎に帰りたいと考えていた矢先、東京で開かれた移住相談会で知った、越知町の地域おこし協力隊に応募したとのこと。

売れ行きは予想の3倍

早速、観光協会の要請で、コスモスマツリでラーメンを売ることになり、道具の調達をはじめ、製麺業者と交渉を重ね、オリジナルの麺や自前のスープづくりに取りかかり、何とか店を開くことができました。

まつり初日から予想の3倍の売れ行きで、毎日売り

切れ状態が続いているとのこと。

3年後に開業めざす

この日は高知放送から取材のオフアアが来ているとのこと、
「こんなにごんどん話が進むとは」と戸惑いも感じられていました。
協力隊の任期が終わる3年後には、越知町内に店を構えたいと夢を膨らませています。



ラーメンづくりに励む倉橋さん

編集後記

皆様方にご支援をいただき議会議員となり二年が経ちました。町職員時代にも大変お世話になっておりましたが、今後は議員として新しい本町創生のため尽力してまいります。

この一年間、無我夢中で議員活動を行ってきましたが、見えてきた現実として、直ちに手をつけなければならぬ限界集落人口減少・雇用移住定住・子育て支援などさまざまな課題が山積しています。

議会が一丸となり本町が生き残るための創生総合戦略提言書を町執行部に提出しました。皆様の思いや声を町政に反映させるよう、これからも議員一同精進して、二層の努力をしなければならぬと思っております。

《小田》

編集・発行責任者	議長 齋藤 政広
議員 長	武智 龍
議員 岡	林 文一
議員 市	原 静子
議員 小	田 範博
副委員長	高橋 文一
委員長	武智 龍

※分かりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せください。

9月定例会の傍聴者は延べ6人でした。次の定例会は12月です。大勢の傍聴をお待ちしています。

議会を傍聴しませんか